

謹賀新年



多古町議会議員

菅澤 昌則

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまには穏やかな良き新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年、私ども議員は議員選挙の年で、新人2名が加わり新たな多古町議会がスタートしたところですが、今更以上責任の重さを痛感いたしております。

現在、多古町として一番の課題は少子高齢化による人口減少にあります。そのような中、多古台に子育て支援の象徴ともいえる「多古こども園」が開園し、順調な運営がなされています。また、隣接するマストシティ多古アトリエヒルズの住宅建設も着々と進んでおり、若い世代の転入・転居によって



多古町長

菅澤 英毅

輝かしい新春を迎え、謹んでごあいさつ申し上げます。

町制60周年というひとつの節目を経て、新たなスタートを踏み出した多古町は、今まさに大きく変わろうとしています。

新しいまちとして誕生した多古台では、商業施設や公共交通施設が開発し、住宅開発の第2期分譲計画が決定するなど、さらに充実したものと順調に推移しています。町行政としても、柴井・多古台線など道路環境の拡充をはじめ、子育てしやすい環境が整備された特色あるまちづくりに向けてまい進しているところであります。

また、成田国際空港の機能強化について議論が活発化し、空港周辺の自治体を取り巻く環境には大きな変化が生じようとしています。昨年中には、

「成田空港に関する四者協議会」が2度開催され、空港間の競争力向上の観点から3本目の滑走路についてはB滑走路の南側へ整備する案、B滑走路を北側へ延伸する案を議論の基礎として今後は調査・検討を進めていくことが確認されています。このような状況の下、町としては騒音地域に十分配慮した形での周辺地域の土地利用・道路整備・企業誘致・圏央道の早期完成支援などを強く推進し、空港との共生・共栄を図っていききたいと考えております。

教育面につきましては、「多古町学校教育ビジョン」に基づき幼・小・中とが連携した一貫的な教育に取り組むとともに図書館などの教育環境を充実させながら、未来の多古町を担う人材育成にも努めてまいります。

地方による自主的で自立した自治への転換が求められる中、昨年中には人口減少がもたらすさまざまな課題に対し、地域の特色を活かした施策を展開して人口減少に歯止めをかけるために「多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

2016年は、前述しましたような多岐にわたる分野において皆さまとの協働により町の活性化をさらに進め、夢と希望を実現するために尽力してまい進してまいります。

人口減の歯止めとなることが期待されております。今後、若い人たちが多古町に定着するためには、雇用の場の確保、より子育てしやすい環境づくりに取り組んでいかなければならないと考える次第であります。

今、多古町を取り巻く情勢は、成田国際空港機能強化のために動き出した第3滑走路整備にかかる騒音対策と地域振興、圏央道の県内ルートで唯一未開通の大栄JC〜横芝松尾IC間の早期着工ならびにサービシアなど休憩施設の設定要望、国の地方創生総合戦略に基づく「多古町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具現化など、町議会としても町民の代弁者としてその使命を果たすべく積極的にかかわっていく所存であります。

これからも多古町議会は、未来の元気な多古町のため活力ある産業を創っていくこと、誰もが幸せに暮らし多古に住んで良かったと言われるまちづくりを、町行政・議会・町民の三本の矢が一本の太い矢となって実現するためまい進してまいります。

結びに、町と町民の皆さまにとりまして本年が輝かしい良き年であり、またことをご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。



上空から望む、多古台の新しいまち